

平成30年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	13. 文化財保存整備事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	2. 文化財保護費	担当所属	文化課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	第4章	明日へつながるまちづくり	5年間計画額	10,571
臨時	単独	計画	0	0	378		基本施策5	歴史・文化資産の保全・活用	平成28年度	3,363
									平成29年度	1,877
							平成30年度	2,262		
							平成31年度	3,019		
						施策2	歴史文化資産を保全・活用します	平成32年度	50	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		1,720

財源内訳								一般財源
本年度当初要求額								0
本年度当初査定額								1,720

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・市民文化資産リーフレットの印刷製本を行います。                  ・文化財案内板(市民文化資産等)を設置します。                  ・社寺歴史文化遺産調査を行います。                  ・デジタルミュージアムの制作準備を行います。                  ・文化財管理システムの整備(遺跡、史跡、歴史的建造物)の準備を行います。</p>	<p>(事業の目的) ・佐倉学(学校教育・社会教育)を支援します。                  ・歴史文化遺産を活用した交流人口の増加させます。                  ・見学者の利便性向上させます。</p>	<p>(事業の効果) ・訪れた場所でも携帯情報端末から佐倉の歴史文化のより多くの情報を知ることができます。                  ・佐倉学の学習支援となります。</p>
<p>(事業実施上の問題点) ・PCの普及に加え、スマートフォン・タブレット等の情報端末の普及が著しく進んでいる現状に合わせて、「歴史のまち佐倉」にふさわしい情報提供が求められています。                  ・文化財説明板の設置場所について所有者・管理者と事前に協議する必要があります。</p>	<p>(前年度からの見直し点) ・今後の文化財活用のための基本情報となる社寺歴史文化遺産調査を今年度より実施します。</p>	<p>(見積についての特記事項) ・社寺歴史文化遺産調査のための備品費を計上しました。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
11	96	0	96
12	24	18	6
13	1,600	832	768

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
		20	05	04	01	07	00	書籍等売払収入	0	0	90
差引一般財源								0	1,720	△90	1,810